

空調設備ニュース

air conditioning news

10
2021.Oct

No.036

機器 ダクト 配管 換気
 排煙 自動制御 他

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

SBT（科学的根拠に基づく目標（Science Based Targets））の概要

1. はじめに

「SBT」とは「Science Based Targets」の頭文字を取ったもので、パリ協定が求める水準と整合した5年～15年先を目標年として企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のことである。パリ協定で定められた目標のひとつは、産業革命前を基準とした温度上昇を2℃未満にとどめることである。正確には、「（気温上昇を）2℃より“十分”低く保つ（Well Below 2℃）：WB2℃」と記載されている。さらには、「1.5℃以下」が追求すべき努力目標として定められている。WB2℃を達成するためには温室効果ガス2.5～4.2%/年の削減が必要である。

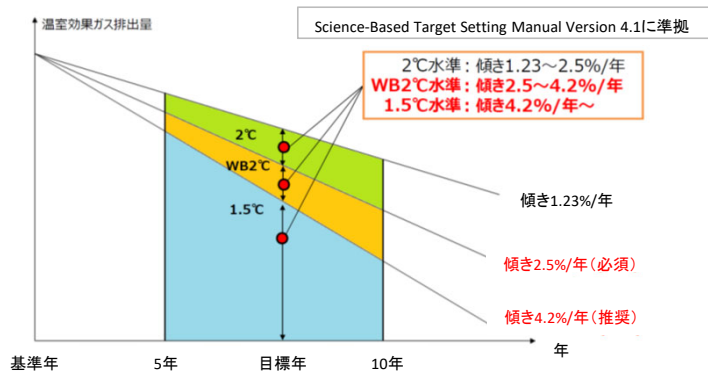


図-1 産業革命前からの気温上昇と温室効果ガス排出量削減の関係

2. SBTが削減対象とする排出量

サプライチェーン排出量（事業者自らの排出だけでなく、事業活動に関係するあらゆる排出を合計した排出量）の削減がSBTでは求められる。

サプライチェーン排出量 = Scope1排出量 + Scope2排出量 + Scope3排出量



○の数字はScope3の桁コリ

Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）

Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）

図-2 サプライチェーンの流れ

3. SBTに取り組むメリット

SBTはパリ協定に整合する持続可能な企業であることを、ステークホルダに対して分かり易くアピールすることで、評価向上やリスクの低減、機会の獲得と言ったメリットにつながられる。

①対投資家へのメリット

SBT設定は持続可能性をアピールでき、CDP^(※1)の採点等において評価されるため、投資家からのESG投資^(※2)の呼び込みに役立つ。

(※1) CDP：投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営する非政府組織

(※2) ESG投資：従来の財務情報だけでなく、環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance）要素も考慮した投資



②対顧客へのメリット

SBTを設定することはリスク意識の高い顧客の声に応えることになり、自社のビジネス展開におけるリスクの低減・機会の獲得につながる。

③対サプライヤーへのメリット

SBTで設定した削減目標を、サプライヤーに対して示すことでサプライチェーンの調達リスク低減やイノベーションの促進へつなげることができる。



④対社内・従業員へのメリット

SBTは野心的な目標達成水準であり、SBTを設定することは社内で画期的なイノベーションを起こそうとする気運を高める。

4. SBTの考え方

SBTの削減目標設定（特にScope1+2）は下記の経路が基本となる。

- ①Scope1、2および3（該当する場合）について目標設定の必要がある。
- ②Scope1、2の削減経路はほぼ限定されており「**総量同量**」である。
- ③Scope3の目標は以下のいずれかを満たす「**野心的な**」目標を設定する。
（総量削減か原単位削減、あるいはサプライヤー/顧客エンゲージメント目標）
- ④事業セクターによってはセクターの特性を踏まえた算定手法も用意されている。

5. SBT設定の基準概要

項目	内容
バウンダリ(範囲)	企業全体（子会社含む）のScope1および2をカバーし全てのGHG（Greenhouse Gas: 温室効果ガス）が対象
基準年・目標年	基準年はデータが存在する最新年とすることを推奨
	目標年は公式提出時点から最短5年、最長15年以内 提出日までに既に達成している目標はSBTとしては認定されない。
目標水準	最低でも2°Cを十分に下回る水準に抑える削減目標を設定しなければならない。さらに、1.5°C目標を目指すことを推奨する。→SBT事務局が認定するSBT手法に基づき目標設定
	Scopeを複数合算した目標設定が可能。ただしScope1+2はSBT水準を満たすことが前提 他社のクレジット取得による削減もしくは削減貢献量はSBT達成のための削減に算入できない。
Scope2	再生電力を1.5°Cシナリオに準ずる割合で調達することはScope2排出削減目標の代替案として認められる。
Scope3	Scope3排出量がScope1+2+3排出量合計の40%以上の場合にScope3目標を設定
	Scope3排出量全体の2/3をカバーする以下のいずれかを満たす目標を設定すること。 ①ひとつ以上の排出削減目標を設定 ②サプライヤー/顧客・エンゲージメント目標を設定
	Scope3の目標は「野心的」であることが求められる。
報告	企業全体のGHG排出状況を毎年開示
再計算	最低でも5年ごとに目標見直しが必要

出典：環境省「SBT (Science Based Targets) について」

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/GBT_syousai_all_20210319.pdf